

雪国・寺町修行道場 開催事業

取り組みに至る背景・事業の目的

冬には毎月の雪下ろしが必要となる豪雪地域にあって、若者が地域を離れ、高齢者世帯が年々増えていく中でその除雪作業をどう行っていくかは、高齢者世帯はもとより、それを支える地域にとっても大きな課題となっている。

そこで、平成18年豪雪に、県内外から多くの除雪ボランティアの方々に支援いただいた経験から、新しい支援方法として広域支援の構築を目指すこととし、重労働である除雪作業を自分を鍛え高めるための修行と位置づけ参加者を募るとともに、雪国の風土や暮らしを学びながら交流することによりボランティアとの関係づくりを進める。

事業内容

地元実行委員会が主体となって開催した雪国道場には、県内外の学生や社会人など60名が参加。

地元指導のもと、2日間、高齢者や障がい者世帯での屋根の雪下ろしなどの除雪活動を行った。

また、作業後の交流会では、郷土料理を味わいながら、飯山の風土についての説明を受け、地元スタッフや高齢者との交流を深めるとともに、飯山の暮らしと風土について学んだ。



事業効果

- 地元指導のもと取組んだ除雪活動では、作業の過酷さの実感とともに、涙を流して喜んでくれる高齢者との交流に充実感を感じたとして、参加したボランティアからは継続的な開催を望む声が聞かれた。
- 高齢者や地元スタッフとの温かい交流や、飯山の風土や暮らしについての学びをとおして、ボランティアの方々に飯山への愛着を抱いていただき、来年の参加を約束して帰る参加者がいるなど、地元住民とボランティアとの交流による関係づくりをとおして、新しい支援システムづくりにつなげるという試みに手ごたえが感じられた。
- 豪雪時の高齢者世帯への新たな支援策としてのみならず、ボランティアが地元住民との交流を通じて、雪国の風土や郷土食等暮らしの知恵を学びながら参加する「豪雪地を元気にする新たな活動」として期待が高まる。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

「若い人がたくさん来てくれて、地元住民にこれだけ感謝される取組みができて本当によかった。」と、地元では今後の取組みに意欲的であり、平成20年度以降は、地元が主体的に実施できるよう「雪国道場開催マニュアル」の作成を進めるなど、飯山市内全10地区での実施に向けて準備が進んでいる。

また、雪に不慣れな県外ボランティアへの、危険防止や怪我防止の徹底のため、マニュアルには作業マニュアルも加え、作業者、受益者双方に安心・安全な取り組みとしていく。

【選定のポイント】

豪雪時の高齢者世帯への広域支援の構築。雪国の知恵の学びを通じた参加者との関係づくり。

団体名 飯山市社会福祉協議会（飯山市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 TEL: 0269-62-2840	事業費	249,152円
Eメール: s.fukusi@iiyama-catv.ne.jp	支援金額	247,000円